

## ☆ 3 学年就職試験スタート

数々の事業所が、なぜ一度も働いたことのない、何の実績もない高校生を求めているのか、みなさんは考えたことがありますか？

それは、①若くて元気な高卒者を入れると職場の雰囲気明るくなる ②変な先入観がないので会社独自のルールや方針にすぐに馴染んでくれる ③吸収力が高く新しい事も飲み込みが速く、その姿勢が職場全体にもたらす影響が大きいからです。

つまり、各事業所が求めている高校生は、①元気で明るい人 ②やる気のある人 ③向上心や好奇心が強い人 ということになります。

過去にとったテストの点数や過去に休んでしまった欠席日数はもう取り返しのつかない数字です。しかし、事業所が求めているのは、「**未来のあなた**」です。面接本番で今後どうしていきたいのか、今後どう頑張っていくのか、どんな夢があるのか、そんな未来の自分を力強く語ることができれば、いくらでも内定をもらう可能性はあるのです。

**最後まであきらめずに頑張る姿勢を見せましょう！**



## ◆ 就職試験本番！ 何を持っていけばいい？！

就職試験の内容は事業所ごとに様々ですが、注意して欲しいことは、採用内定の基準となること、筆記試験の点数とか面接の内容だけじゃないってことです。もっとはっきり言えば、試験会場（その事業所の敷地内）に入ってから出るまでがすべて試験です。

会場までにすれ違った従業員に対する挨拶、会場の受付での挨拶、試験を待っている時の態度、面接を待っている時の態度。すべてが評価の対象です。特に、筆記試験では、「どれだけ知っているのか」という結果的な点数よりも、わからない問題に対して「どのように取り組んだのか」という忍耐力・集中力の方を重視する事業所が多いです。たとえば、制限時間50分の筆記試験で、30分くらいで一通り問題を解き、あとはわからないからと簡単にあきらめて寝てしまうと「忍耐力、集中力がない」と評価されますし、「そもそもうちの会社に本気で入りたいのか？」と疑われます。

面接を待っている時の態度も評価のひとつです。足を組んで待っていたり、携帯で時間をつぶしたりする態度は、これも「本気で入社する気があるのか？」と思われれます。かと言って、面接の待ち時間は順番によってもまちまちですが、長いと30分以上待たされる場合もあります。そんな時、ただひたすらじっと身動きせず待っているのは、とてつもなく苦痛です。

そこで待ち時間でじっくり落ち着いて待てるように、

- ①求人票のコピー
- ②試験案内の文書
- ③事業所のホームページを印刷したもの
- ④見学の際にもらったパンフレット
- ⑤進路ノート



などを持っていくことをお勧めします。特に①と②は絶対もっていきましょう。会場に行く途中に事故などに巻き込まれて遅刻しそうな時、連絡先と採用担当者の名前があるので安心です。試験の時間や場所は、意外と思ひ込みで勘違いして覚えてしまうことがあります。手元にもって、何回でも確認しておきましょう。

⑤進路ノートは、まさにこの時のためのものです！応募前職場見学に行った時のメモ、応募する会社の特徴、志望動機や面接練習で聞かれてうまく答えられなかった質問、面接練習でどんなことを注意されたか。などをこのノートにまとめておくと、就職試験本番で、緊張している自分を落ち着かせる良いお守りになってくれます。 **がんばれ！3年生！！**